地域を活かす助成金セミナー

トヨタ財団

「地域社会プログラム」

2007年12月8日

喜田亮子

1．トヨタ財団設立の経緯

・1974年にトヨタ自動車が自動車づくりをはじめて40年を機に「人間のより一層の幸せを目指して」設立。

「世界的視野に立ち、しかも長期的かつ幅広く社会活動に寄与するため、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等の多領域にわたって時代の要請に対応した課題をとりあげ、その研究ならびに事業に対して助成を行う」

設立趣意書より

2．地域社会プログラム設立の経緯

30周年→プログラムの見直し

市民活動助成 → 地域社会プログラム

・地方からの多様な地域活性化の試みを支援。

・地域という多様な課題、担い手が存在する場への支援。

→複合的なアプローチ

グローバル化に伴う、地域社会の荒廃→「くらしといのち」を支える基本的な場の崩壊

3．地域社会プログラムの内容

- テーマ「地域社会の再構築を目指して
  ー支えあうくらしといのち」
- 10月1日～11月20日（消印有効）
- 法人格（有無、種類）、経験年数等すべて不問

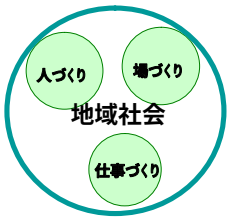
活動助成		全国の市民グループ	上限200万円
成果普及助成	活動記録の「出版」		上限100万円
	広域ネットワーク		上限400万円
離島		北海道、本州、九州、四国以外	上限200万円
ユース		高校生	1件50万円

助成対象となるテーマ

①社会福祉
②保健・医療
③人権
④海外支援・国際交流
⑤平和
⑥まちづくり・地元学
⑦市民事業
⑧ボランティア・市民活動支援
⑨食・農/スローライフ
⑩環境問題
⑪芸術・歴史・スポーツ
⑫子ども・青年・教育
⑬その他

何でもOK

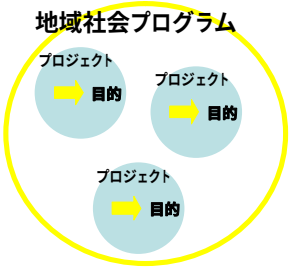
「地域」における複合的な課題の解決



4．考え方

（応募用紙記入の際に意識してもらいたい事柄）

地域社会プログラム



「地域社会の再構築」

地域に暮らす人々が、身近にある資源や人的なネットワークを活用しながら、地域の課題を解決することを通して、互いのくらしやいのちを支えあい、育むことのできる社会をつくりだすことが狙い

（応募要項より）

個別プロジェクトの目的が「地域社会の再構築」にどう寄与するのか。

その他のポイント

- 成果の波及効果
- 日常業務→新たな展開
- 地元の人の主体性
- 民間性
- 相補性（多様なセクター）

5．応募～選考～助成

応募締め切り　11月20日
↓
選考
↓
採否決定　3月中旬～下旬
↓
助成　4月上旬

助成金贈呈式
→助成対象団体の交流、活動報告

6.　連絡先

〒163－0437　新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル37階

Tel 03-3344-1701／ fax 03-3342-6911

WEBサイト
http://www.toyotafound.or.jp